

NPO法人ヨロンSC 【海っ子ローカル配信プロジェクト事務局】

池田 香菜, 原田 理恵子, 池田 剛

## はじめに | 海っ子ローカル配信プロジェクトとは

与論島には世界に誇れる海があります。しかしながら、「年に数回しか海に行かない」「海の遊び方を知らない」という子供たちの声を多く耳にします。近年、海離れが進む与論島の子ども達を“海っ子”に育てたい。このような想いから本プロジェクトは、与論島の海の魅力を発信する体験型プロジェクトとして立ち上がりました。



## 活動の様子 | 海遊び体験活動とジャーナル制作

2020年6月からプロジェクトが始動し、さまざまな“海遊び体験活動”を行ってきました。また、体験活動をもとに、与論島の魅力を発信するための新聞作り、“ジャーナル制作”を行いました。3月には町民を対象にシンポジウムを開催しました。



東海域（国立公園内）をフル活用！



1 km

与論島における体験活動実施場所(GoogleMapより)

- 6月**
  - 6月7日 キックオフミーティング
  - 6月14日 海ゴミゼロウィークに参加
- 7月**
  - 7月5日 サンゴ礁体験学習
- 8月**
  - 8月9日 赤崎トレッキング(WEB)
  - 8月16日 魚のさばき方教室(WEB)
- 9月**
  - 9月13日 ヨロンジャーナル制作ワークショップ①
  - 9月22日 ヨロンジャーナル制作ワークショップ②
- 10月**
  - 10月3日 SUPカヌーツーリング
  - 10月4日 ヨロンジャーナル制作ワークショップ③
  - 10月11日 ヨロンジャーナル制作ワークショップ④
- 11月**
  - 11月14日 旧暦のある暮らし体験(WEB)
- 12月**
  - 12月6日 ヨロンジャーナル制作ワークショップ⑤
- 3月**
  - 3月17日 シンポジウム「海から考える与論島の未来」
  - 3月20日 メガSUPツーリング



▶ **累計234名**の方に参加していただくことが出来ました。  
 ▶ 海遊び体験は計7回、ジャーナル制作ワークショップは計6回、シンポジウム1回、合計14回の活動を実施することができました。COVID-19感染拡大に悩まされた2020年度でしたが、感染拡大防止措置を取りつつ、ワークショップ内容に合わせてZoom（Zoomビデオコミュニケーションズが提供するクラウドコンピューティングを使用したWeb会議サービス）を用いたオンラインワークショップも行い、島外の講師とWEB上で繋いでのワークショップも開催出来ました。

## まとめと今後の予定

- ▶ さまざまな海遊び体験を通じて、いままで「普通」に生活していた与論島を、より深く知ることが出来ました。
- ▶ 与論島の魅力紹介において、ジャーナルを制作することで、「伝わるデザイン」「見やすいデザイン」など、文字やイラストで“分かりやすく”伝える方法を学ぶことが出来ました。
- ▶ 海のPR誌ジャーナル及びウェブマガジンが完成しました。ウェブサイトは与論町内の学校で地域展開型として取り組まれている「海洋教育」の情報発信の場として、活用いただく予定です。また、行政、観光協会や地域ライターと協働で情報発信していくための仕組づくりを行います。



ヨロンジャーナル